

会 議 記 録			
会議の名称	決算特別委員会 環境市民厚生分科会		会議場所 全員協議会室
			担当職員 小野
日 時	令和4年8月12日（金曜日）	開 議	午前 10 時 00 分
		閉 議	午前 10 時 52 分
出席委員	◎長澤 ○大塚 富谷 平本 並河 三宅 竹田 西口		
事務局	井上事務局長、小野主任		
傍聴者	市民 0名	報道関係者 0名	議員 0名

## 会 議 の 概 要

### 1 開会

### 2 事務事業評価対象事業の選定

#### <長澤委員長>

事務事業評価対象事業の選定方法について、事務局から説明を。

[事務局主任説明]

#### <長澤委員長>

前回の分科会で、各委員に対象事業の抽出をお願いした。今回は、各委員が事前に抽出した内容を記載した資料を配付しているので、その資料に基づき、各委員から抽出した理由、論点とされたい点などを報告願う。

#### <富谷委員>

健康福祉部P7、老人クラブ育成経費については、平成28年度の事務事業評価対象事業として選定したが、現在も課題は解決していない。亀岡市老人クラブ連合会に関連する経費であるが、亀岡市老人クラブ連合会の加入者は、前回の事務事業評価時は2,700人程度であったが、現在は2,000人以下になっている。この事業は、全国的な取組であり、本市としても継続していく必要がある。内容の一部が他の事業と重複している部分もあるが、介護予防支援や重層的支援体制の整備を行うに当たって、大きな役割を果たす事業であると思う。

#### <平本委員>

環境市民部P3、環境保全対策経費について、ポイ捨て防止重点地域に監視員を配置するなど、新たな取組を進めているが状況が見えにくい。また、市民の方から亀岡駅南に高額な喫煙ブースを設置したが、メンテナンスが行き届いていないと聞いており、現状と今後の対策について確認したい。

#### <並河委員>

健康福祉部P6、高齢者生活支援経費について、以前は緊急通報装置を無料で貸し出していたが、利用者にアンケートを取ったところ、有料でも利用したいとの回答が一定数あったため、月1,000円で貸し出すこととなった。高齢者の年金は減少しているにも関わらず、物価は高騰しているため、負担を減らす対策の一つとして無料化を検討してはどうかと考える。

#### <三宅委員>

環境市民部P10、塵芥収集運搬経費について、予算規模の大きい事業であり事業の概要は分かるが、詳細について確認したい。環境市民部P11、粗大ごみ処理経費について、市民の要望も含めた形で実施できないか検討したい。健康福祉部P6、敬老事業経費について、敬老事業に関しては予算や担当する職員が減っており、事業の実施に苦慮していると聞いているため、その事業の実施方法などについて、検討するべきであると考えている。

<大塚副委員長>

介護保険事業特別会計P9、介護予防・日常生活支援総合事業経費「高齢者介護予防拠点活動支援事業委託料」は、令和2年度の事務事業評価対象事業として選定した。本来、介護予防・日常生活支援総合事業経費はフレイル対策として、国が事業を実施してきたという経緯がある。本市では、高齢者の居場所としてNPOや自治会がミニデイサービスの形で運営してきた。令和3年度からは、本来の形であるフレイル特化型の事業として実施されており、参加されている方から高い評価を受けている。今後は国の事業目的に沿った亀岡モデルとして拡大したいという思いがある。長引くコロナ禍で高齢者の外出機会は激減しており、この事業を拡大し運動や社会的交流の場を創出することは、フレイルや認知症対策として有効であると考えている。現在は限られた財源の中で事業を実施しているため、事業規模・予算規模を拡大してはどうかと考える。

<長澤委員長>

環境市民部P9、桜塚工場運転管理業務については、今年度に入ってから循環型社会推進審議会で、ごみの分別拡大について審議が行われている。その背景には、再資源化、埋立てごみ・燃やすごみの減量という要素があると考えている。燃やすごみの減量は、桜塚クリーンセンターの運転に直接関わってくることであるが、修繕計画や今後の使用見通しがどのようになっているのか、また令和3年度決算としてどのように成果が表れているのかを確認したい。健康福祉部P10、障がい者福祉サービス事業経費については、近年、障がい者福祉の需要が増え、サービスを提供する事業者も増えているが、どのようなサービスが増えているのか、それがどのように決算に表れているのか、また事業所の運営に関する課題はどのような内容なのか確認したい。選定理由や事業内容について説明していただいた。3項目程度を目的に事業を選定したいと思うが、各事業について質問などはあるか。

<三宅委員>

環境保全対策経費は項目として挙げるべきであると考えている。

<竹田委員>

介護予防・日常生活支援総合事業は課題が多く、本市では支援者の成り手がなく、事業費も少ない中で事業を実施しており、話を聞く限りでは国が示しているような効果は出ておらず、「楽しみ」という部分で事業が終わっているように感じる。桜塚工場運転管理経費について、以前は数億円の経費をかけて修繕を行っていたが、最近は大きな修繕を行っておらず不思議に感じている。修繕計画はどのようになっているのか、予算が足りなくて修繕ができないのか確認したい。敬老事業経費については、本委員会が付した「事業を縮小すべきである」という意見を基に事業が進んでいると思うので、それを踏まえたうえで選定すべきであると思う。

<平本委員>

介護予防・日常生活支援総合事業は、以前から委員会の中で、拠点整備の確保に苦慮されていると伺っていた。その都度、委員会で進捗状況を確認し協議を行ってきたが、重要な案件であると考えている。桜塚クリーンセンターの件については、現

時点で大規模な修繕はないが、今後必要になると考えられるため、計画性をもって進められているのか確認したい。環境保全対策経費については、喫煙ブースやポイ捨て禁止重点地域の現状と課題、今後の在り方について確認したい。

<並河委員>

緊急通報装置の貸し出しを無料化に戻してほしいという思いはあるが、今回の項目からは取り下げる。

<西口委員>

これまで、桜塚クリーンセンターの修繕計画を詳細に確認したことはない。必要がある都度修繕を行っているようであるが、施設の長寿命化を図るため、先を見据えた修繕計画を策定しているのか確認したい。介護予防・日常生活支援総合事業については、本委員会の行政視察で東近江市に行った際、包括的な福祉制度の中で介護の在り方を学ばせていただいた。介護については幅広い課題があるので、本市の状況について確認したい。

<竹田委員>

環境保全対策経費は、幅広い経費であるので、喫煙ブースだけではなく、エコウォーカーや不法投棄対策、ポイ捨て監視員の費用対効果など、環境保全全体に視点を広げて評価を行えばよいと思う。

<長澤委員長>

障がい者福祉サービス事業経費は取り下げる。

<富谷委員>

老人クラブ育成経費は取り下げる。

<三宅委員>

今回提案した3件は取り下げる。

<長澤委員長>

事務事業評価項目は、「環境保全対策経費」「桜塚工場運転管理経費」「介護予防・日常生活支援総合事業経費（高齢者介護予防拠点活動支援事業委託料）」の3つとしてよいか。

—了—

<長澤委員長>

決算審査を行うに当たり、現地視察を行うことについて意見はあるか。

<三宅委員>

JR亀岡駅南側の喫煙ブースやポイ捨て禁止重点地域の状況、桜塚クリーンセンターの現地視察を行ってはどうか。

<平本委員>

桜塚クリーンセンターは議員になったときに現地視察を行ったが、それ以来状況を確認していないので、桜塚クリーンセンターの運転に支障がないのであれば視察したい。

<長澤委員長>

JR亀岡駅周辺と桜塚クリーンセンターで決算審査に当たっての現地調査を実施することとしてよいか。

—了—

### 3 その他

<長澤委員長>

次回の日程について、事務局から説明を。

<事務局主任>

事前の勉強会や論点整理には、実際に使用する調書でもって行うのが望ましい。その調書の提出を待って勉強会や論点整理を行ってはどうか。次回開催日程を決定願いたい。

<長澤委員長>

次回の開催日は、勉強会を8月25日（木）午後1時30分から、論点整理を9月13日（火）の議案審査後としてよいか。

—了—

散会 ～10:52